

## 記入例

●●年●月●日

エネルギー産業創出促進事業補助金  
「府内企業による研究開発等」編 事業計画書

大阪府知事 様

所在地 〒559-8555 大阪府●●市●●区●●0-0-00  
名称 株式会社 ●●  
代表者名 ●●

標記について、以下のとおり関係書類を添えて提出します。

## 1 実施体制

企業の概要	名称	株式会社 ●●		
	所在地	〒559-8555 大阪府●●市●●区●●0-0-00		
	担当者役職・氏名	●●部 部長 ●● ●●		
	ホームページ	<a href="http://www.osaka.com/jp/">http://www.osaka.com/jp/</a>	E-mail	0000@osaka.jp
	電話／FAX	06-6210-0000／06-6210-0000	業種	製造業
	資本金	1千万円	従業員数	60人
	分類	中小企業	○	その他企業

## 2 計画概要

(1)事業名称	電気自動車の部材に活用する高機能材料の開発		
(2)事業実施場所	株式会社 ●● 大阪研究所 (〒559-8555 大阪府●●市●●区●●0-0-00)		
(3)事業実施期間	交付決定日から令和7年3月31日まで		
(4)分類	蓄電池	○	水素・燃料電池
	風力		水力
	太陽熱		大気中・その他の熱
(5)事業計画概要	太陽光		
	地熱		
(5)事業計画概要	バイオマス		
	(5行程度) 自社の●●技術により開発した●●素材を用いることで、従来の高い剛性、強度等を保持しながら、従来に比べ●●%軽量化、●●%のコスト低減したEV用の●●部材を開発する。 その部材を実用化するため必要となる実証実験を行う。		

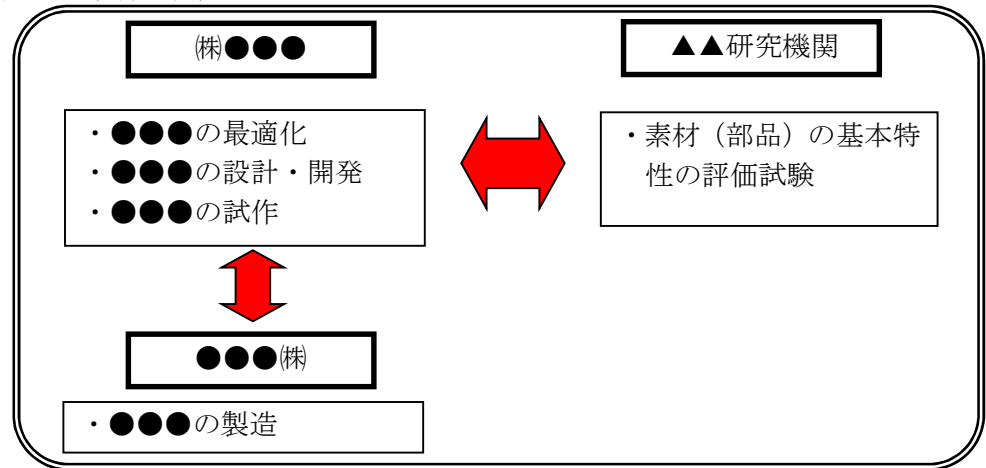
<p>(6) 研究開発等の内容と目標等</p>	<p>① 研究開発等の背景（10 行程度）</p> <p>○国のカーボンニュートラル宣言以降、電気自動車（EV）がさらに注目を浴びているが、ガソリン車に比較してEVの航続距離が限られていること、また、EVの価格が高額なことなど、ユーザーの利便性やコストという観点からまだ購買意欲が進まない状況である。</p> <p>○EVの普及拡大には、EVの航続距離の延長やコストダウンが不可欠である。車載の蓄電池の高機能化・高性能化だけではなく、EVを構成する部品や部材の軽量化についても重要なファクターとなっている。さらに、安全性能についても高いレベルが要求されており、部材供給メーカーとして早急に取り組むべき課題と考えている。</p>																								
	<p>② 技術的課題</p> <p>○従来の●●素材で作製した部材では、高い剛性、強度等を保持しながら、一層の軽量化を図ることは非常に困難な状況である。</p> <p>③ 今回の研究開発等の内容と目標</p> <p>※背景や課題を踏まえた研究開発等の内容と目標について、既存技術に対する優位性が分かるよう記載してください。</p> <p>※中小企業以外については、技術の先進性・革新性がわかるよう記載してください。</p> <p>※万博を見据えた具体的な計画等があれば記載してください。</p> <p>※図表、写真等を用いて分かりやすく記載してください。</p> <p>○自社で開発した●●技術を●●素材に適用して、最適な条件で加工することにより、高い剛性、強度等を保持しながら、部材の一層の軽量化を図る。</p> <p>○●●技術を●●素材に適用するにあたっては、●●や●●の課題があるため、●●や●●し、また、●●を●●することなどにより、最適条件を導き出すことを目標とする。</p> <p>○本技術は、…の観点から画期的なものである。</p> <p>○●●技術を用いた●●部材の特徴は、従来品に比べ、下記のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">&lt;●●技術を用いた●●部材の特徴&gt;</p> <table border="1" data-bbox="438 1189 1390 1435"> <thead> <tr> <th></th> <th>従来品</th> <th>当物品</th> <th>従来品と当物品の比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>素材</td> <td>●●</td> <td>●●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>強度</td> <td>●●</td> <td>●●</td> <td>同等</td> </tr> <tr> <td>軽量化</td> <td>●●</td> <td>●●</td> <td>●●%軽量化</td> </tr> <tr> <td>コスト</td> <td>●●</td> <td>●●</td> <td>●●%の低減</td> </tr> <tr> <td>●●</td> <td>●●</td> <td>●●</td> <td>同等</td> </tr> </tbody> </table> <p>○このような部材・部品を開発することにより、今後、市販される新たなEVの軽量化・低コスト化が可能となり、EV普及の加速に貢献することができると考える。</p> <p>○さらに、EVへの採用をきっかけとして、周辺分野にも展開が可能と考える。</p>		従来品	当物品	従来品と当物品の比較	素材	●●	●●		強度	●●	●●	同等	軽量化	●●	●●	●●%軽量化	コスト	●●	●●	●●%の低減	●●	●●	●●	同等
	従来品	当物品	従来品と当物品の比較																						
素材	●●	●●																							
強度	●●	●●	同等																						
軽量化	●●	●●	●●%軽量化																						
コスト	●●	●●	●●%の低減																						
●●	●●	●●	同等																						
<p>(7) 事業化可能性</p>	<p>事業化可能性に関し、ユーザーや取引先等のニーズ、売上、市場規模など事業化に向けた具体的な見通しを記載してください。</p> <p>○取引先からの●●●などの要望に対応し、今回の研究開発を行う。本開発により、軽量化によるEVの航続距離の延長に寄与するほか、環境負荷の軽減等を達成することができる。</p> <p>○年間●●●円程度（単価●●円×●●個）の売上規模に広げたいと考えている。</p> <p>○さらに、●●としての活用を考えて、●●へ●●を働きかける販路拡大も考えている。</p>																								

(8) 研究開発等の実施体制と役割分担

目標達成までの取組みについて、応募者、共同実施者、委託先、試験研究機関等の各主体の具体的な実施内容及び関わりについて記載してください。

- (株) ●●●
  - の最適化：……
  - の設計・開発：……
  - の試作：……
- ●●(株)
  - の製造：……
- ▲▲研究機関
  - の評価試験：
    - ・素材の基本特性の評価試験：●●試験装置を活用して●●評価試験を行い、●●に関するデータを収集し、データ解析を行う。
    - ・データ解析結果に基づき、(株)●●●に対して、……。

(図式の場合の例)



(9) スケジュール

開始から終了までの取組みスケジュールを記載してください。取組み項目と実施主体について簡潔に記載してください。

項目 \ 月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	必要事業費(千円)
●●の最適化 (株●●●)	⇒											●●●
●●の設計・開発 (株●●●)	⇒	⇒										●●●
●●の試作 (株●●●)			⇒	⇒	⇒							●●●
●●の製造 (●●(株))						⇒	⇒	⇒				●●●
●●の評価試験 (▲▲研究機関)									⇒	⇒		●●●
合計事業費												●●●

### 3 経費配分案

#### (1) 経費配分案

(単位：円)

経費区分	細目	補助事業に要する経費	補助事業申請額	備考
研究開発費	開発事業費			
	・原材料費	1,000,000	500,000	
	・消耗品費	300,000	150,000	
	・機械装置購入費	1,000,000	500,000	
	・機械装置改良費	500,000	250,000	
	・外注加工費	500,000	250,000	
	開発委託費			
	・共同研究費	1,000,000	500,000	
	開発事務費			
	・謝金	50,000	25,000	
	・旅費	100,000	50,000	
	・会議費	50,000	25,000	
	小計①	4,500,000	2,250,000	
試験分析費	・データ収集	500,000	250,000	
	・試験分析・評価	1,000,000	500,000	
	小計②	1,500,000	750,000	
実証実験費	実証実験事業費			
	・機器レンタル料	100,000	50,000	
	・設置工事費	300,000	150,000	
	・申請手数料等	20,000	10,000	
	実証実験委託費			
	・安全対策費	100,000	50,000	
	・運搬費	30,000	15,000	
	実証実験事務費			
	・保険料	50,000	25,000	
	・学識経験者・モニター等謝礼費	100,000	50,000	
	・旅費	200,000	100,000	
	・会場使用料等	100,000	50,000	
	小計③	1,000,000	500,000	
	合計①+②+③	7,000,000	3,500,000	

※専ら補助事業の実施に必要な経費のみ計上可能

(2) 補助金以外の経費負担（補助事業の経費のうち補助金で賄われる部分以外に関する経費）

負 担 者	株式会社●●	負担方法	自己資金による
負 担 額	補助事業に要する経費－補助事業申請額＝負担額 3,500,000円		

4 他の補助金等の申請状況について

同一の取組みを他の補助金や助成金等に申請中又は申請予定がある場合は、その名称等を記載してください。

〔上記の補助金や助成金等の交付を受けている場合、又は受けることが決まっている場合は、応募することはできません。〕

補助金・ 助成金等の名称等	●●●●助成金（募集機関：●●） 又は 申請予定なし		
申請（予定）日	●●年●月●日	交付決定予定日	●●年●月●日